

## 太田市立太田高等学校アメリカ研修 3 日目 (3/5)

本日は最高気温でも-2℃程と言う冷え込みでしたが、空気が澄み綺麗な青空が見える一日でした。今朝は生徒だけで登校する一日目となりましたが、間違ったバスに乗ってしまったり、駅を降りてから迷ったりと3組が授業開始の9:00には間に合わず…。しかし、遅れそうとわかった時点で電話で状況を知らせてくれ、何かあったら即連絡するという約束はしっかり守ってくれました。ホストファミリーにバス停や地下鉄の乗り方を確認し、事前にマップを見るなど予習はしていても、実際に使ってみてはじめてわかったことが多くあります。明日は今日の教訓を活かして全員時間までに登校してくることを期待しています。授業初日にもなった今日は、受付で昨日のテスト結果によって決まったクラスの案内を受け取り早速教室に入りました。クラスによっては半分ほど他国の学生で、不安そうな表情で授業が始まりました。一限目が終わり休み時間になると、ぞろぞろと教室から出てきましたが、「難しすぎる」「何も話せなかった」と暗い表情。授業の内容と言うよりも、先生が話している英語の速さにまだ慣れていない、発言する勇気がなかなか出ないということのようです。他のクラスメイトは授業についていけているのに…とショックを受けていましたが、まだ初日の最初の時間ということでまずは自分のペースでクラスの雰囲気になれるだけでも十分と二限目に送り出しました。

緊張の授業が終わると、FLSの近くでランチをそれぞれ取り、本日の午後の訪問先であるハーバード大学に向かいました。

案内をしてくれたのは博士課程4年生の趙さんです。中国出身で日本語は苦手、と恥ずかしそうにしていますが、分かりやすく時に面白く解説をしてくれ、一気に生徒の心を掴みました。スタンフォードで修士を取りハーバードに入るという華麗な経歴を持つ彼女ですが、日本のドラマや小説に興味を持ったことから日本語の勉強をしたと言うことで、いい意味でイメージが覆ったようです。

出来るだけ多くの生徒と話したいと、彼女の方から列の後ろの方にいる生徒にまで話に行くサービス精神で、人見知りの生徒も気軽に話しかけることができました。どんなことでもいいから聞いて、との言葉に大学の学部について、勉強や中国の受験についてなどの真面目な事から、趣味の話まで気さくに答えてくれ、1時間程度のキャンパスツアーでしたが、終わるのが残念で別れ難くなるほどでした。貴重な出会いと時間を過ごしたことは生徒たちの充実した表情から伺い知ることができました。

今日はハーバード駅からの帰宅となります。帰りは暗くなっていることもあり家にたどり着くのは容易ではないですが、これもまた新しい挑戦と言うことで無事帰宅の連絡を待ちたいと思います。



担任の先生が学校内を案内



ハーバードキャンパスツアー



屋上からは大学を一望できました



大学内の美術館にて



趙さんへの質問は次から次へ・・・

